


学 校 案 内



しあわせ信州
一人ひとりの
学びたいを叶える

NAGANO PREFECTURE SCHOOL OF PUBLIC HEALTH

 長野県公衆衛生専門学校 2026

歯科衛生士学科





教育方針

教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤にし、自学、自修、自治の精神を育み、豊かな人間性を養う。
保健医療従事者として基礎的な知識・技術を持ち、人々の健康に貢献する歯科衛生士を養成する。

教育目的

歯科衛生士法に基づく必要な知識・技術を教授し、口腔衛生の向上に寄与する有能な歯科衛生士を養成する。

教育目標

- (1) 人を愛する心を持ち、口腔の健康をとおして人の健康を考える能力を養う。
- (2) 人間を幅広く理解し、よりよい人間関係が築けるコミュニケーション能力を養う。
- (3) 歯科予防処置、歯科診療の補助及び歯科保健指導の知識・技術を習得し、総合的な実践をとおして、科学的・論理的に考え、問題解決ができる能力を養う。
- (4) 社会の動き、環境の変化に即応し、常に主体的に学習し続ける能力を養う。
- (5) 保健医療従事者の一員として協調・協働できる能力を養う。

歯科衛生士の仕事



歯科衛生士は歯・口腔の健康をとおして
人々の健康をサポートするスペシャリストです。

高齢になっても元気な人は、歯や口腔の健康な人が多く、全身の健康に口の健康が関わっていることも明らかになってきました。「生涯自分の歯でおいしく食べる」「楽しく会話をする」ために歯や口腔の健康が欠かせません。そのためには、乳幼児期からのむし歯予防や、成人の約8割が罹患しているといわれる歯周病を予防することが重要です。

人の一生のそれぞれの場面で、健康づくりのサポートを行う国家資格の専門職が歯科衛生士です。

■ 歯科衛生士の主な仕事



歯科予防処置



歯科保健指導



歯科診療補助



口腔ケア(病院・高齢者施設・在宅)

診療室で歯科医師とともに処置を行うばかりでなく、障害者や高齢者の口腔管理を担うスペシャリストとして、質の高い口腔ケアの提供や、口腔機能維持のための訓練等、歯科衛生士の活躍の場は広がってきています。

■ 歯科衛生士の活躍の場

総合病院、大学附属病院、歯科診療所、市町村、保健所、介護老人保健施設、事業所、歯科衛生士学校または養成所等

学校紹介

■ 修業年限、定員、授業料

学 科	修業年限	定 員	授業料
歯科衛生士学科	3年	60人(1学年定員20人)	166,800円(年額)

※日本学生支援機構 給付奨学金、貸与奨学金対象校
 ※授業料減免制度あり

■ 卒業後の資格

- ア 歯科衛生士国家試験の受験資格が得られる。
- イ 専門士(医療専門課程)の称号が得られる。

■ 授業時間割

時 限	時 間
ホームルーム	8:50 ~ 9:00
1時限	9:00 ~ 10:30
2時限	10:40 ~ 12:10
(昼休み)	12:10 ~ 13:00
3時限	13:00 ~ 14:30
4時限	14:40 ~ 16:10



実習室

■ 国家試験の状況(合格率)

年 度	3	4	5	6	7
全 国	95.6	93.0	92.4	91.0	94.5
本 校	100	94.4	100	90.9	94.7

(%)

■ 卒業生の就職状況

年度	卒業 学生数	求人状況(求人数)			就職状況(人)			
		県内	県外	計	県内			県外
					病院	診療所	行政	診療所
4	18	126	659	785	0	16	0	2
5	18	120	582	702	2	14	0	2
6	11	113	555	668	2	8	1	0
7	19	105	562	667	2	16	0	0

歯科衛生士学科
卒業生数
1,812人

■ 入学生の状況 出身地域別入学状況

年度	上伊那	飯伊	諏訪	中信	北信	東信	県外	合計
5	9	1	3	2	1	0	1	17
6	15	3	1	0	1	0	0	20
7	3	2	3	0	0	0	0	8
8	14	3	1	0	1	1	0	20



※長野県は「歯科口腔保健推進条例」を制定し、歯科口腔に関する保健医療サービスに携わる者の確保及び資質の向上に取り組んでいます。

出身校 (大学卒業の学生についても出身高校を記載しています)

※県内のみ

須坂高校、中野西高校、上田東高校、諏訪実業高校、諏訪二葉高校、下諏訪向陽高校、岡谷東高校、岡谷南高校、東海大諏訪高校、辰野高校、箕輪進修高校、上伊那農業高校、伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校、高遠高校、赤穂高校、伊那西高校、松川高校、飯田風越高校、飯田OIDE長姫高校、阿智高校、下伊那農業高校、飯田女子高校、木曾青峰高校、豊科高校、南安曇農業高校、松商学園高校 等

教育内容

授業科目

基礎分野	心理学、倫理学、日本語表現法、社会学、生物学、化学 英語 I・II、音楽、健康とスポーツ
専門基礎分野	解剖学、組織発生学、生理学、生化学、口腔解剖学、歯牙解剖学 口腔生理学、口腔生化学、病理学、口腔病理学 微生物学、口腔微生物学、薬理学、栄養学、口腔衛生学 I・II 衛生・公衆衛生学、統計学、衛生行政、社会福祉、基礎医学
専門分野	歯科衛生士概論、歯科臨床概論、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学 歯科補綴学、歯科矯正学、口腔外科学・麻酔学、小児歯科学 障害者歯科学、高齢者歯科学、歯科放射線学 歯科予防処置論、歯科保健指導論、歯科診療補助論、口腔保健管理法 I・II 栄養指導法、歯科材料学、看護学、臨床検査 摂食嚥下リハビリ法
選択必修分野	高齢者学、コミュニケーション論、カウンセリング 情報科学 I・II、経営マネジメント、研究
臨床・臨地実習 (実習施設)	歯科大学附属病院、医学部附属病院、地域医療支援病院、歯科診療所 保育園、小学校、支援学校、高齢者施設、保健センター 等62施設

教員

非常勤講師約55名（信州大学、長野県看護大学、飯田短期大学、伊那中央病院、長野県歯科医師会会員ほか）
専任教員（歯科衛生士）4名、演習・校内実習等指導歯科衛生士12名

学校の沿革

沿革

- 昭和44年4月 長野県公衆衛生専門学院伊那分院歯科衛生士学科として伊那市室町に開設、
歯科衛生士の養成を開始
(昭和44年3月31日厚生省収医第157号指定)
- 昭和52年8月 伊那分院、伊那市上荒井へ移転
- 昭和55年4月 学校教育法に基づく公立専修学校専門課程の設置が許可される。
名称を長野県公衆衛生専門学校伊那分校と変更
(長野県教育委員会指令54教高第566号)
- 昭和56年2月 伊那市上荒井の新校舎へ移転
(昭和56年4月1日厚生省収医第36号指定)
- 昭和63年4月 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に伴い修業年限2年となる。
名称を長野県公衆衛生専門学校伊那校と変更
- 平成21年4月 長野校閉校に伴い伊那校が「長野県公衆衛生専門学校」となる。
- 平成22年4月 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に伴い修業年限3年となる。
- 平成23年3月 歯科衛生士学科2年制課程の養成終了
- 令和元年8月 創立50周年記念式典挙行

キャンパス ライフ Campus Life

1年生



化学 講義風景



交流会



歯科診療補助Ⅰ 共同動作実習



昼食風景



校外研修



歯科保健指導基礎 演習



う蝕予防処置法 洗口剤実習



歯牙解剖学 講義

2年生



歯科診療補助Ⅱ 回診ケア実習



栄養指導 グループワーク



歯みがき風景



校外研修 明海大学



臨地実習Ⅰ特別講義 介護基礎



歯科保健指導Ⅱ 実習準備



生物学 魚の解剖

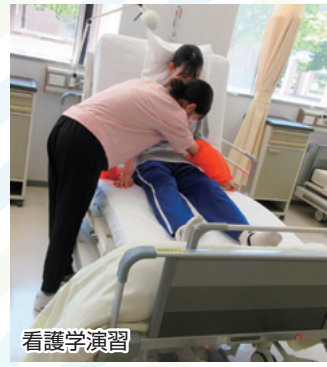


栄養指導 調理実習



新実習衣

3年生



縦割り実習



自治会

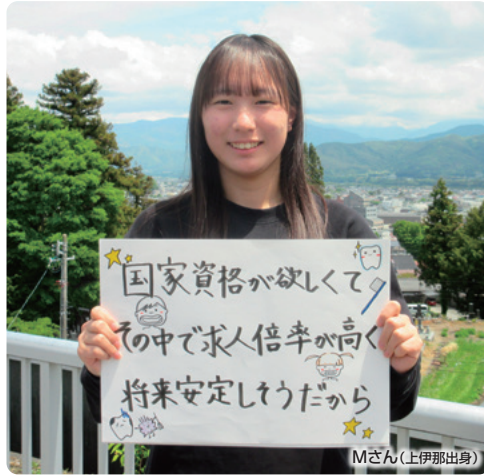


先輩からのメッセージ

1年生に
質問しました。



歯科衛生士を
目指した理由は？



2・3年生に
質問しました。



公衆衛生専門学校の
良いところは？



卒業生からのメッセージ

新人歯科衛生士
より

信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科 勤務



矢崎 慶都さん
(令和8年3月卒業)

私は信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科で働いています。当院は特定機能病院として高度医療や地域連携の中核を担っており、幅広い治療を行っています。

多様な症例や研究分野にも携わることで知識、経験、思考力を養える点に魅力を感じ、就職を決めました。

来院される患者さんには基礎疾患やさまざまな背景を抱えている方が多く、一人ひとりの状態や特性に合わせた対応が求められます。また病院では口腔内だけでなく、全身状態や薬剤に関する知識など幅広い理解が必要となります。学ぶべきことの多さに苦戦することもあります。今は知識を吸収し、対応力の向上を図ることを心掛けて日々研鑽を積んでいます。病院の歯科衛生士には、単なる健康維持の支援にはとどまらず、他職種とも連携しながら疾患と向き合う患者さんに寄り添い、身体・精神の両面から支えることで不安や負担の軽減を図る、という役割があると思っています。自分も病院で働く中でその役割の重要性を肌で感じ、チーム医療の一角を担える充実感とやりがいを日々感じています。

私は公衆衛生専門学校の強みは実習先の豊富さだと考えます。病院や行政の現場など多岐に渡る分野に触れることで、目指したい歯科衛生士像や自分がどんな場所で活躍したいかが明確になります。実際に私も病院実習に行き、歯科の枠を超えた医療に携わる現場を目の当たりにしたことで、病院で働きたいとより強く思うようになりました。

学生生活では大変な事も多くありましたが、その時に培った経験と学びを自信に変え、責任を持って患者さんに関われる歯科衛生士になれるよう、今後も努力していきます。

臨床実習担当
歯科衛生士より

医療法人 小木曾歯科医院 勤務



小原 凜流さん
(平成31年3月卒業)

私は臨床実習施設である駒ヶ根市の小木曾歯科医院に就職し、8年目になります。就職して2年目頃から臨床実習担当として学生を指導しています。

公衆衛生専門学校の学生は実習に対する意欲が高く、基礎知識もしっかりと身につけていると感じています。こちらが指導したことをすぐに理解し、課題解決に向けて質問し、苦手なことをそのままにせず意欲的に実技練習している姿が見られます。

公衆衛生専門学校では全学年で臨床実習があり、臨床実習施設としても学生が患者さんと関わる機会を多く確保しています。そのため学生が知識や技術、対応力をしっかりと身につけています。また、学校での相互実習も充実しており、学生同士の実習・後輩実習・模擬患者実習と様々な経験をし、高齢者施設や伊那支援学校での実習もカリキュラムに組み込まれているため、臨床の場で生かすことができていると思います。

実習担当だけでなく新人の指導も行っていますが、公衆衛生専門学校を卒業した方は就職後も即戦力となる方が多いと感じます。座学や模型での練習も大切だと思いますが、学生の時に様々な患者さんと関わる経験をしているため、就職してからも丁寧で一人一人の気持ちに寄り添った患者対応ができています。また、基礎知識が身につけているため就職してすぐに生かすことができますし、新しい知識・技術の習得も早いです。臨床・臨床実習の充実、卒業後の実力に直結しています。

歯科衛生士は国家資格であり、一生の資格です。自身の生活に合わせた働き方ができることや、患者さんの口腔内の健康を直接サポートできるのでとてもやりがいがある仕事です。これからも臨床実習指導を通して、実力ある歯科衛生士の育成に協力していきたいです。

認定歯科衛生士
より

汲田歯科医院 勤務



牧島 瑞帆さん
(令和2年3月卒業)

私は松本市の汲田歯科医院に勤務しています。当院では歯周病専門医である院長のもとで、歯周病治療に重点を置いた診療を行っています。私自身も日本歯周病学会認定歯科衛生士の資格を取得し、継続して専門的な知識や技術を身につけることで患者さんに信頼され、安心して治療を受けていただけるよう日々努力しています。

私が「歯周病についてもっと深く学び、極めたい」と意識したきっかけは、専門学校の臨床実習でした。開業医での臨床実習は私にとって「どのような歯科衛生士になりたいか」を考えることができる、とても充実した時間でした。その中の歯周病専門医での実習で、歯周病治療に強く興味を持つようになりました。

歯周病治療は、歯科衛生士が中心となって進めていく分野です。もちろん歯周外科が必要な場合には歯科医師による診断や治療が必要になりますが、基本治療の多くは歯科衛生士が主体となり実施します。患者さんと一緒に「なぜ歯周病になってしまったのか」「改善するためにはどうすればよいのか」を考え、生活習慣やセルフケアについて指導していくことに、大きなやりがいを感じています。

就職してからの5年間は歯周病学会認定歯科衛生士の資格取得を目標に、スタディーグループにも所属し、知識や技術の向上に努めてきました。大変なこともあります。患者さんから感謝の言葉をいただける機会も多く、やりがいを感じながら仕事に取り組むことができます。

このような環境で動かしていただいている院長やスタッフの皆さん、そして学生時代の私をここまで導いてくださった先生方への感謝を忘れず、これからも学び続け、より良い歯周病治療を提供できるよう努力していきたいです。

在校生からのメッセージ



3年
田中 美結さん

私は将来医療系の仕事に携わりたいと思っていました。その中で、歯科衛生士は予防をとおして患者さんの健康を生涯にわたり支えることができる仕事だと思い、進学を決めました。

本校は1学年20名であり、学年を超えた交流があります。分からないことや不安な事があれば先輩が自身の経験を踏まえて優しくアドバイスをしてくれ、自分の学びを深める事ができます。またアットホームな雰囲気先生との距離も近く、気軽に相談できる環境が魅力です。校内の実習では2人で1台の診療台を使用できるため、技術指導の時間も多く、授業時間を有意義に使えることが最大の魅力だと思います。

また、歯科診療所や病院だけでなく保育園、小学校、高齢者施設、支援学校など様々な施設で実習があることで、多様なライフステージの対象者とどう関われば良いのか学ぶことができます。

この学校で基礎的な知識、技術を学び、様々な場所で実践的な実習を行うことで、ひとつひとつの知識を紐づけて論理的な学びができていますと実感しています。切磋琢磨しあえる仲間と共に歯科衛生士という同じ目標に向い、日々成長できています。



▶伊那市駅から徒歩10分
▶小黒川スマートICから車で3分

長野県公衆衛生専門学校

問い合わせ先

〒396-0025 長野県伊那市荒井4347-1
電話 0265-72-4730 FAX 0265-76-9922
E-mail koshueisei@pref.nagano.lg.jp
<https://www.pref.nagano.lg.jp/koshueisei/>